

## 2019年西方音楽館友の会会計報告

コンサート収入 1,866,540円  
 「この内、第4回西方音楽祭へのメセナを通じてのご寄付 310,000円  
 メセナを通じないご寄付 60,000円」  
 コンサート支出 2,575,619円  
 コンサート赤字 709,079円

### コンサート以外の収入

●友の会会費 (12月31日現在会費を納めた方)  
 A会員 71名 213,000円 B 会員41名 410,000円 S 会員1名 50,000円  
 会費合計 113名 673,000円  
 ●うどん・カレンダー販売益金  
 2018年のうどん販売の際のご寄付 1,500円  
 2019年 34,211円  
 コンサート以外収入合計 708,711円

### コンサート以外の支出

●友の会会報製作・発送  
 第19号 第20号 第21号 合計 147,890円  
 ●運営委員会  
 第16回運営委員会 第17回運営委員会 45,100円  
 ●その他 29,551円  
 コンサート以外支出合計 222,541円

西方音楽館友の会 総収入合計 2,575,251円  
 西方音楽館友の会 総支出合計 2,798,160円  
 赤字 222,909円

## ●西方音楽館友の会主催コンサート2020年～2021年

- 第67回コンサート高橋弘治 J.S.バッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会シリーズ第1回  
 2月24日(祝・月)14:30～
- 第5回西方音楽祭は、中面をご参照ください。  
 第68回～第72回コンサート
- 第73回コンサート ベートーヴェンヴァイオリンソナタ全曲演奏会シリーズ第1回  
 5月17日(日)14:30～  
 バロックヴァイオリン:廣海 史帆 フォルテピアノ:羽賀 美歩
- 第74回コンサート サティのいたパリ ピアノ:七條恵子  
 7月11日(土)14:30～
- 第75回コンサート 田部井辰雄 ギターリサイタル???
- 第76回コンサート 久元祐子 ベートーヴェン ピアノ作品コンサート
- 第77回コンサート テレマン「ハンブルク四重奏曲」全曲演奏会Vol.2  
 演奏:古楽アンサンブル「ムジカレセルヴァータ」  
 バロックヴァイオリン:小野萬里 フラウト・トラヴェルソ:国枝俊太郎  
 バロックチェロ:高橋弘治 チェンバロ:岡田龍之介
- 第78回コンサート 川口成彦 フォルテピアノリサイタル  
 2021年1月15日(金)19:00～近江楽堂(東京オペラシティ内)  
 1月16日(土)15:30～西方音楽館  
 川口成彦氏によるレッスン 1月17日(日)西方音楽館
- 第79回コンサート 高橋弘治 J.S.バッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会シリーズ第2回  
 2021年2月 日程未定
- 赤ちゃんとお母さんのための音楽会 すべて 11:00～ 0歳から大人まで  
 2020年1月13日(祝・月)、2月13日(木)、3月20日(祝・金)、  
 4月4日(土)(この日だけ、お花見わらべうた)、5月6日(祝・水)、6月11日(木)、  
 7月1日(水)、8月10日(祝・月)、9月22日(祝・火)、10月15日(木)、11月12日(木)、  
 12月8日(火)



### こ・ぼ・れ・話

音楽向きでない私が、  
 3種の人体実験によって、  
 音楽的にこの程度まで  
 来られたので、  
 かなりの人が、  
 もっと先まで行ける!!!  
 と確信しているこの頃です。

中新井紀子

## ●Wmusic企画 (西方音楽館内) 主催コンサート

- 第1回Live 菊池亮太LIVE 2020年5月3日

## 西方音楽館友の会会員募集

西方音楽館友の会会員募集(毎年4月が更新の時期です)  
 A会員:3,000円 B会員:10,000円 S会員:50,000円 G会員:100,000円  
 それぞれコンサートへの特典があります。西方音楽館友の会主催コンサートは、会員の会費で支えられています。  
 2019年12月27日現在会費を納めている方 A会員:70名 B会員:41名 S会員:1名  
 西方音楽館友の会運営委員:中新井紀子(西方音楽館館長)、岡田龍之介(チェンバロ奏者)、小川和隆(ギタリスト)  
 木下大輔(作曲家)、永田美穂(音楽学)、山村多恵子(オカリナ奏者)、高田良久(医師、下野楽遊代表)  
 中新井諒子(2020年3月国立音楽大学卒業)



## 2020.1 木洩れ陽の窓から No.22

西方音楽館友の会会報

編集・発行人 中新井紀子

西方音楽館

322-0601

栃木県栃木市西方町金崎342-1 TEL 0282-92-2815 E-mail info@wmusic.jp Web http://wmusic.jp

## 聴くこと、演奏すること、作曲すること ……あるいは、人体実験

中新井紀子

大学副科のピアノのレッスンで「どうしたら音楽性が身に付くのですか?」と先生に尋ねると、「超一流の演奏を聴くこと」と、即座に答えが返ってきました。音楽性の定義は、別の機会に譲ることとして、私はその時以来、心して超一流の演奏を聴くことに努めました。超一流の演奏には、無駄がない、隙が無い、すべての音に意味がある。この世とは隔絶された崇高とも言える世界あるいは宇宙が現れ、聴き手をその中に取り込んで離さない。

ある時、1回のコンサートは数知れない練習に勝る、という趣旨の言葉に出会い、人前で演奏を執行することにいたしました。ある演奏団体に所属し、決死の覚悟で、本番に臨むこと数回。本番でしか出せない力、本番でしか見えてこない音楽があること知りしました。

甚だ音楽性は無いと自覚しているので、作曲などとんでもない、これこそは絶対無理!!!と、確信していたのですが、自ら経営する「西方音楽院」作曲教室で自ら生徒となり、作曲を学ぶことになりました。和声をまだ中途までしか勉強しておりませんでしたので、その続きが学べれば……、程度の気持ちで始めましたところ……。初めは伴奏付け、その後2部形式、3部形式と進み、ついにソナタ形式、そして今「変奏曲」作曲の真っ最中。

軽い気持ちで、和声的に正しく耳に快ければ良しとして、ためらいもなく、四苦八苦しつつも、作曲らしきことをこなしておりましたが、変奏曲の数変奏を作り、あと2~3つ変奏を作れば完成、というところで気づいてしまったのです。ベートーヴェンやショパンの深さ、激しさ、美しさに、なんと程遠いことか!と。そして、魂の叫びみたいなものを音に表してみたい!という欲が出ましたら、その時初めて、そこから一歩も進めなくなりました。七転八倒の死にそんな思いでやっと脱却し、一步一步、思う所に違わないよう音を探し、何とか作曲に戻れたというのが、今の状況です。今年3月1日の作品発表会に間に合うかどうか……、決死の覚悟で歩んでいるところです。作曲と言うのは、全身全霊を賭けた戦いであると思い知りしました。

甚だ音楽的でない人間が、「超一流の演奏を聴くこと」、「公の場で、一般聴衆を前に、大きなホールで演奏すること」、「自ら作曲してみる」と、この3つの人体実験を通して、どう変わったか……。

今さらプロの音楽評論家、演奏家、作曲家になれるわけではありませんが、確かに言えることは、これまで気づけなかったことに気づき、知らなかったことを知り、遅々とした歩みではありますが、そんなことを積み重ね続けた結果、音楽の理解がよりの確になっていく自分に気づいています。

音楽を知りたい、と思っている方、自分の音楽的能力に悩んでいる方、プロの音楽家を目指している方は、私が自らに課したこの3つを、ぜひ実践してみてください。聴くだけ、演奏するだけ、作曲するだけ(特に自己流で)、では知りえない、音楽の奥深い森を探索する勘や技を確実に身に着けることが出来ると思います。